

開催日時：令和元年5月28日（火）10：00～12：00

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階会議室

出席者（事業所）

（教育部会）筑後特別支援学校、ちゃおちゃお、よろず屋、プラム、ちくご、スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室、あおぞら、yellow☆、さくらんぼ、Clear、トワ・エ・モア

（就労部会）わ～よか筑後、デュナミス、プラムの小径、ディアスポラ、筑後市手をつなぐ育成会、ハローワーク八女、和水想、年輪の園、輪、さんふらわあ筑後、はうす、te しごと+te-ら、筑後市役所福祉課、ちくたくネット

今回は、就労部会・教育部会合同開催でした。

障害者就業・生活支援センター「デュナミス」井口氏と、障害者自立訓練サポートセンターわ～よか筑後小塩氏より、障害者の就労支援についての講演をいただき、その後、グループワークを行いました。

講演では、

- ・就職はゴールではなくスタートであり、仕事と生活を両立させていく支援が必要であり、ハローワーク、デュナミス、福祉サービス提供事業所などが連携して支援にあたること。
- ・実際の支援の内容について。
- ・法定雇用率、企業の人手不足もあり、就労についての選択肢はひろがっている。
- ・学生は就職した経験もなく、就職できるのか、どこに課題があるのか知るために、就労アセスメントがある。アセスメントを取ることで卒業後の進路について選択肢が広がる。などの説明を受けました。

その後のグループワークでは、

- ・本人が選択する、考えることができるようになればよい。
 - ・本人や家族へ支援について説明を行うことで、将来の選択肢を広げてほしい。
 - ・放課後等デイサービスで、就労に向けた訓練や、就労先への情報提供、保護者向けの勉強会、卒業後の支援等活動しているところもある。
 - ・幼少期から就労することの喜びが意識付けとして大切。
- 等の意見がでました。

就労・教育部会の合同開催は初めてでしたが、それぞれの役割、支援を知ることができ、お互いにつながりを持つことで、子どもの将来を見据えた支援ができることと思います。

開催日時：令和元年 11 月 20 日（水）

13：30～15：00

開催場所：筑後市総合福祉センター
2 階会議室

出席者（事業所）

デュナミス、プラムの小径、ディアスポラ、筑後市手をつなぐ育成会、年輪の園、植田病院、ケア・ジャパン、輪、さんふらわあ筑後、はうす、筑後特別支援学校、プラム、ちくご、発達障害者支援センターあおぞら、ちくたくネット



今回は、柳川市にある就労継続支援 A 型アップライフ、みやま市にある障がい者就労支援センターサンビジネスより事業所紹介をしていただきました。

☆アップライフでは、

就労支援に係わる生産活動として清掃業務、病棟補助業務、洗濯業務されており就労場所はアップライフ事業所、柳川リハビリテーション病院、柳川療育センターがあるそうです。

面接は法人の人事担当者も入り自らを客観的にみれるか等を重視し、体調が不十分な方は断ることがあるとのことでした。また、入社式もありスーツを着て実施されている様子を写真でみせていただきました。

特徴としてやる気をもってもらえるような環境設定をしたり、苦手なことを克服するよりも、得意なことの能力を生かす支援や安定した仕事量、工賃向上に取り組んでいるとのことでした。また法人の人事担当者と協力し一般就労にも力を注いでいるとのことでした。

☆サンビジネスでは、

主な活動は、就労準備支援、求職活動支援、職場定着支援をしている。

就労準備支援の中にキャリアコンサルティングというものがあり自己分析、自分に合う職業選択の援助し自らを高めていけるようにするキャリア形成を支援する国家資格を持つ専門家が週 1 回在籍しているとのことでした。

在宅就労支援では重度の身体障害者で通所が困難な方に対しテレワークを活用した支援を実施してチラシや年賀状作成を行っているとのことでした。

就労支援で大切にしていることは、その方の特性・ニーズに合った支援、作業を通じて自信や自主性を伸ばし就労移行支援の限られた時間の中で成功・失敗体験の場をつくる。また関係機関とも細目に情報共有し家族を含めたチーム支援をしているとのことでした。

質疑応答も積極的にあり、参加者からは他市の事業所内容を詳しく知れてよかった。就労移行支援、テレワークについて先駆的な取り組みの勉強になった。ステップアップの参考にしていきたいとの声がありました。

開催日時：令和2年2月18日（火） 13：30～15：00

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階会議室

出席者（事業所）

デュナミス、わーよか筑後、プラムの小径、筑後市手をつなぐ育成会、年輪の園、ケア・ジャパン、さんいらわあ筑後、筑後特別支援学校、プラム、ちくご、発達障害者支援センターあおぞら、筑後市ホームヘルプ、自立生活センターちくご、ほがらかホーム、筑後市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室、放課後等デイサービス clear、相談支援事業所ちゃおちゃお、すいれん、筑後市福祉課、ちくたくネット

今回は、「仕事に向けた訓練と、今の仕事」と題し、一般就労している当事者から話を伺いました。また、支援者（障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所、相談支援事業所）からも丁寧に関りについて話をさせていただきました。

☆相談があった経緯や、本人が就労移行を利用された理由、課題に対しどういった訓練をしていたのか、経験を積み重ね本人が成長していった様子など詳しく写真を交えて説明していただきました。支援者の方々からは、現在の姿は関わった当初からは想像できないとのお話でした。

☆今回は、就労部会だけでなく全部会員に案内し、40名程の参加がありました。参加者からは、「一般就労された当事者からの話はとても貴重で参考になった」、「就労支援、障害者の就職を支える様々な機関があるが、何のための支援なのか、筑後市として就労支援をどうすすめていくかを考えていければと考えさせられた」、「利用者本人の最初の相談から就労移行支援の取り組み等が理解でき、一般就労での様子が丁寧な説明で分かりやすかった。本人さんの人柄や誠実さが伝わりました」、「就労支援の過程で支援機関にできることは経験のきっかけをつくること。きっかけがなければ本人に「働く」ことの目標はおろか、そのイメージすら持っていただくことはできない。是非、筑後市内にそういうきっかけをつくってくれる機関、支援者が増えていってもらえればと願います」との声がありました。